

平成 22 年 2 月 22 日
 中学校校長会資料
 杉並保健所健康推進課

子宮頸がんワクチン接種事業について

1 子宮頸がんとは

○ 子宮の入り口にできるがんで、「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が原因です。国内では、年間1万人以上が発症し、約3,500人が死亡していると言われています。

罹患者は30～40代が多く、最近では20～30代の若い患者が増えています。

○ この予防ワクチン「サーバリックス」(英グラクソ・スミスクライン社)が、厚生労働省の製造販売承認を得て、平成21年12月に販売開始となりました。

「サーバリックス」は、10歳以上の女性が接種対象で、半年以内に3回の接種(接種費用は3回計で約5万円)が必要です。ワクチン接種は、中学生段階(11～14歳)が最も予防効果が高いとされています。

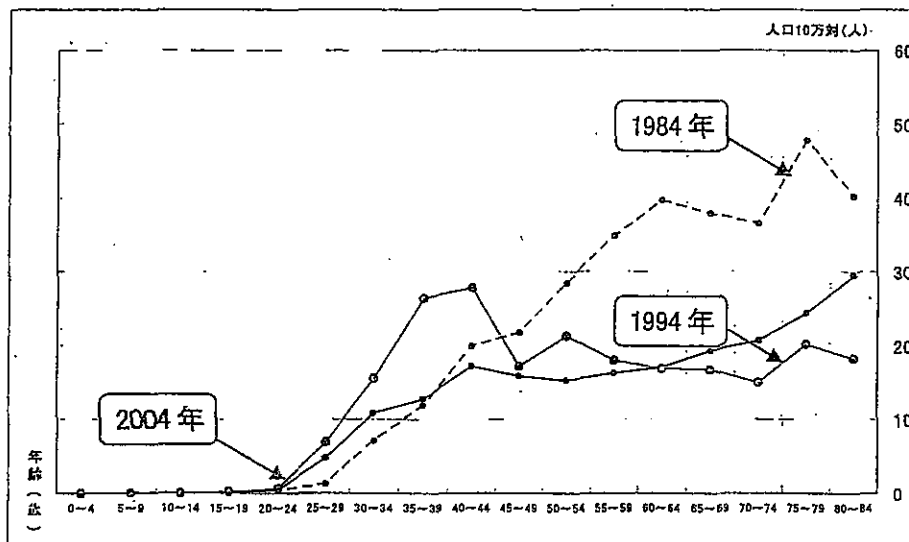
2 ワクチン接種事業の実施

○ 区では、子宮頸がんがワクチン接種と検診を行うことでほぼ100%死亡を防止できるものであることから、中学進学者の女子を対象に、必要とされる3回分のワクチン接種の全額助成を行うこととし、平成22年度予算案に所要経費を計上しました。

○ 今後、学校関係者等による検討会議を設置し、保護者向けのわかりやすく効果的な啓発の仕方やそのための適切な資料の作成、医療機関による接種方法等の具体的な検討を進め、本年7月を目途にワクチン接種事業をスタートさせたいと考えています。

「子宮頸がん罹患率の年齢別推移

出典:国立がんセンターがん対策情報センター」



3 今後の進め方

(1) (仮称)子宮頸がんワクチン接種検討会の設置

- 本年3月に学校関係者等による検討会を設置し、事業実施に向けた具体的な検討に着手します。

《委員構成メンバー(案)》

- ・中学校長会、養護教諭研究会中学校部会、中学校PTA協議会からの推薦者
- ・保健予防課長、保健予防課保健師、上井草保健センター所長(医師)、学務課長、学務課保健師

※委員は合計で8名程度。事務局は、健康推進課が担当

《主な検討事項(案)》

- ・保護者に対する啓発方法の検討 ～パンフレット、ポスター、チラシの作成、講演会等の実施など
- ・実施方法、スケジュールの検討 ～助成方式(クーポン券による助成等)、医療機関の周知・案内、事業実施時期など

(2) ワクチン接種事業の概要(現時点での考え方)

- 事業開始 本年7月頃
- 対象者 新中学1年生女子 約1,600人
- 受診率 約30%(見込み)
- 補助率 100%(3回の接種で約5万円)
- 助成方法 有効期限2～3年間のクーポン券方式

【連絡先】

杉並保健所健康推進課長 大澤 章彦

【担当】

杉並保健所健康推進課健康推進係

久保田、大屋

電話 3391-1015

子宮頸がんワクチン接種事業の実施について

平成22年度から、中学生女子1年生を対象に、将来のがん発症予防及び健康な生活を生涯にわたって過ごせるよう、子宮頸がんワクチンの接種事業を、以下のとおり開始する。

1 事業開始の理由

- ① 子宮頸がんワクチン接種については、既に海外百カ国以上で実施され、その予防効果も実証されており、日本でも昨年10月に承認、12月に発売となったため、接種事業開始の環境が整ったこと。
- ② ワクチン接種により約7割の子宮頸がんの発症を予防し、ガンの発症による死亡や出産の不能、後遺症のリスクを回避することができること。
- ③ ワクチンの安全性も他の予防接種と同等またはそれ以下であり、一刻も早く事業開始をすることで、将来の区民の生命、身体の安全・安心を保てること。

2 接種対象者

平成22年度に中学1年生となった杉並区在住の女子 約1,600人
(平成9年4月2日生まれ～平成10年4月1日生まれの女子)

3 事業の内容

接種対象者に6ヶ月の間に3回のワクチン接種を行い、費用を全額補助する。

○第1回目の接種期限 平成23年 3月31日
(第1回目の予防接種は、1学年のうちに行う)

○第2回目の接種期限 平成23年 5月31日

○第3回目の接種期限 平成23年11月30日

※ 1回目接種後、杉並区外に転出した場合も、杉並区の指定医療機関であれば引き続き接種可能

4 接種費用及び接種医療機関

1回当たり 17,000円(3回で51,000円)

杉並区医師会の研修会を受講した医療機関 医師会と契約

※但し、医師会未加入の医療機関であっても医師会の研修を受講すれば同条件で個別契約

5 事業の開始時期

平成22年7月20日(火)

6 事業の流れ

- ① 「予診票」及び「子宮頸がん予防接種のお知らせ」等を対象者の保護者あて郵送する
- ② 同封されている「子宮頸がん予防接種医療機関一覧表」に記載されている

- 中から希望の医療機関を選び、予防接種の予約を行う
- ③ 接種当日に「予診票」に必要事項を記載し、予約医療機関で接種を行う
※ 予診票を持参しない場合は、接種費用は全額自己負担
 - ④ 母子手帳に接種記録を記載する
 - ⑤ 接種当日は、保護者が同伴する
保護者以外の方（祖父母、保護者の友人等）に同伴を依頼する場合は、委任状が必要
 - ⑥ 予診票により、杉並区医師会を通じて費用を請求する

7 これまでの経過と今後の予定（周知・啓発について）

- 2月 中学校長会、養護教諭研究会中学校部会、中学校PTA協議会へ事業説明
- 3月 上記代表者、保健所関係者で検討会設置
- 4月 区立中学校入学式で保護者宛の「保健所からのお知らせ」配布
区内私立中学校には校長宛事業説明書郵送
- 5月 養護教諭、保健師向け研修会（5月11日、21日）
政策調整会議報告・了承（5月26日）
対象者全員の保護者にお知らせの送付（5月26日）
- 6月 区議会保健委員会報告（6月10日）
杉並区医師会主催の医師会員向け研修会（6月11日）
第2回検討会の実施（学校でのPR方法について）
保護者向け講演会の実施（6月20日）
- 7月 対象者の保護者宛、予診票等送付（7月13日）
事業開始（7月15日）

8 その他

① 他区の状況

- 渋谷区 10～19歳に1万円の補助
- 江戸川区 二定で補正により実施予定（中学生女子全員 全額補助）
- 江東区 三定で補正により実施予定（中学生女子全員 全額補助）
- 中央区 小6～中3を対象予定だが詳細未定

② ワクチン接種のお知らせとともに、子宮がん検診受診のPRも実施する。

保護者各位

杉並保健所からのお知らせ



～子宮頸がんから命を守るワクチンをプレゼント～



中学入学お祝いワクチン

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が原因です。国内では、年間8000人以上が発症し、約2,500人が死亡していると言われています。

罹患者は30～40代が多く、最近は20～30代の若い患者が増えています。

この子宮頸がんを予防するワクチンが、厚生労働省の製造販売承認を得て、平成21年12月に販売開始となりました。このワクチンは、10歳以上の女性が接種対象で、中学生段階(11～14歳)が最も予防効果が高いとされています。

半年以内に3回の接種が必要です。

区では、子宮頸がんが、ワクチン接種と検診を行うことで、ほぼ100%死亡を防止できることから、中学進学者の女子(平成9年4月2日生まれ～平成10年4月1日生まれ)を対象に、必要とされる3回分のワクチン接種の全額助成を行います。

助成制度の開始は、夏ごろを予定しています。事業開始時には、杉並区に住民票のある、対象者の保護者に、ご案内します。接種時期や医療機関等の詳細につきましては、決まり次第、広報等でお知らせいたします。

助成制度開始前に子宮頸がんワクチン接種を行った場合は、助成の対象になりませんので、ご注意ください。



問い合わせ先：杉並保健所 健康推進課

住所 杉並区荻窪5-20-1

TEL 03-3391-1015



中学1年生女子の保護者の方へ

杉並保健所からのお知らせ



中学入学お祝いワクチン

～子宮頸がんから命を守るワクチンをプレゼント～

子宮頸がんは、若い女性に増えており、ウイルスの感染が原因でおこる病気です。年間15,000人が発症し、3,500人が死亡していると言われています。

この子宮頸がんを予防するワクチンが、平成21年12月に販売開始となったのをうけ、区では、**中学1年生の女子(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ)**を対象に、子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を行います。

接種対象者には、**保護者宛に7月中旬**、「予防接種予診票」、「予防接種のお知らせ」、「指定医療機関名簿」等を郵送いたします。

予防接種予診票等が届きましたら、指定医療機関で予約し予防接種をお受けください。

子宮頸がんの予防接種は6ヶ月の間に3回接種します。初回の予防接種は、**中学1年生(平成23年3月まで)**の間に接種していただきます。

★ 助成制度開始前に子宮頸がんワクチンの予防接種を行った場合は、助成の対象になりませんので、ご注意ください。

子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で早期発見することで、ほぼ100%死亡を防げます。別紙のリーフレットをお読みください。

区では予防接種開始にあたり、子宮頸がんやワクチン接種、効果、副作用についてなど、保護者向けの講演会を別紙のとおり行います。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：杉並保健所 健康推進課

住所 杉並区荻窪5-20-1

TEL 03-3391-1015



けい 子宮頸がんから命を守ろう

子宮頸がんは、どんな病気？

子宮頸がんとは、子宮頸部（子宮の入り口付近）にできるがんです。以前は40歳以上が大半でしたが、今は、20歳～30歳代で増えています。

子宮頸がんの初期は自覚症状がほとんどないため、しばしば発見が遅れてしまいます。

子宮頸がんが進行した場合は、大きな手術となり、妊娠・出産が望めなくなることもあります。



子宮頸がんの原因はウィルスなの？

子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウィルス）の感染が原因です。

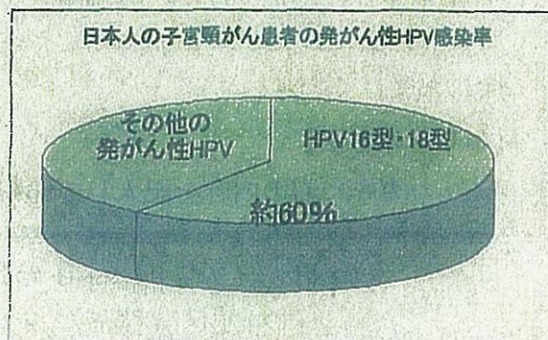
HPVは皮膚や粘膜に存在するごくありふれたウィルスで100種類以上の型があります。子宮頸がんになるのは、そのうち15種類で「発がん性HPV」と呼ばれています。HPVの感染は主に性交渉で起こりますが、特別なことではなく、性経験のある人なら誰でも感染します。

発がん性HPVに感染しても、多くの場合、感染は一時的でウィルスは自然に排除されます。しかし、長い間感染が持続すると子宮がんを発症する場合があります。また、感染の機会があれば、繰り返し感染する可能性があります。

感染しても、子宮頸がんになるのは、ごく一部の人です。

子宮頸がんを予防するワクチンができました

発がん性HPVのうち約60パーセントをしめると言われている16型・18型を予防するワクチンがあります。このワクチンを性経験が無いうちに接種することで、HPV16型・18型の子宮頸がんを、ほぼ100%予防することができます。特に、HPV16型・18型はその他の発がん性HPVに比べてがんになりやすく、進行が早いといわれています。



ワクチンの接種方法・間隔について

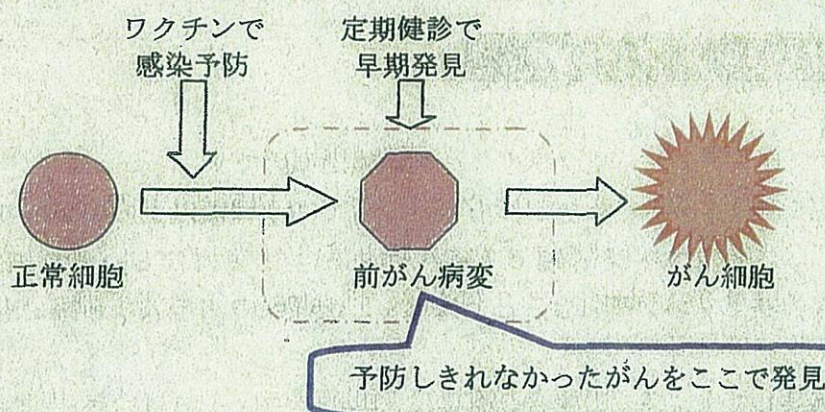
ワクチンは、半年の間に合計3回接種します。(初回、1ヵ月後、6ヵ月後)3回接種することで、十分な効き目が得られます。ワクチンは、肩に近い腕の筋肉に接種します。

予防接種と定期的な検診で命を守ろう

子宮頸がんを予防するワクチンは、16型・18型を予防しますが、その他の発がん性HPVは残念ながら防ぐことはできません。

そのため、20歳になったら子宮頸がん検診を受ける必要があります。定期的ながん検診を受けることで、早期のうちに発見ができ、子宮のほとんどを残すことができ、妊娠・出産も可能です。

ワクチンと子宮頸がん検診をあわせて行うことで、ほぼ100パーセント死亡をふせげます。



子宮がん検診を受けましょう。

母親の皆さん、子宮頸がん検診を受けていますか？
杉並区では2年に1度、自己負担1,000円で子宮頸がん検診を受けることができます。(職場等で受診機会のない方のみ) まだお受けになられたことがない方、今回を機会にお受けください。

【申し込み方法】

ハガキに右の内容を記入して健康推進課へ。

ハガキの書き方

子宮がん検診希望

住所

フリガナ

氏名

生年月日

年齢

電話番号

【申し込み・問合せ先】 167-0051

杉並区荻窪5-20-1 杉並保健所 健康推進課

03(3391)1015

子供と一緒に考えよう 子宮頸がんは予防できる

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、「HPV(ヒトパピローマウイルス)」の感染が原因です。国内では、年間約15,000人が発症し、約3,500人が死亡していると言われています。区では、中学1年生の女子を対象に子宮頸がんの予防接種費用の助成を行います。この機会に、子宮頸がんについて学びましょう。

日時

6月20日(日) 10:00~12:00

講師

対馬ルリ子 先生

テレビ・本などのメディア
でおなじみの...

ウィミズ・ウェルネス銀座クリニック院長

☆ 20代で子宮がんになった方の体験談も予定しています。

会場

杉並区立勤労福祉会館 ホール

杉並区桃井4-3-2

**定員
申込**

300名 (申込順で定員になり次第締め切り)

☆ 申し込みは電話又はFAX(住所・氏名・電話番号を明記)で健康推進課へ。

電話 03(3391)1015 FAX 03(3391)1927

対象

女子中学生の保護者・区民



講師プロフィール: 周産期学、ウィミズヘルスが専門。
弘前大学医学部卒業後、東京大学医学部産婦人科学教室
入局、都立墨東病院周産期センター産婦人科医長などを
経て、2002年にウィミズ・ウェルネス銀座クリニ
ックを開院。

2003年には、女性の心と体、社会とのかかわりを総
合的に捉え、健康維持を助ける医療(女性外来)をすす
める会「女性医療ネットワーク」を設立、全国230名
の女性外来医師・女性医療者と連携して活動している。

会場案内図などは裏面をご覧ください

参加費

無 料

会 場

杉並区立勤労福祉会館 ホール
杉並区桃井4-3-2

案内図

車での来場はご遠慮ください。

- JR 中央線西荻窪駅から徒歩 15 分
- 西荻窪駅北口からバス（井荻駅行きまたは荻窪駅行き）桃井四丁目下車
- 荻窪駅北口からバス（0 番・1 番乗り場から乗車）桃井四丁目下車
- 西武新宿線井荻駅からバス（西荻窪駅行き）桃井四丁目下車

